

地域おこし 協力隊通信



地域おこし 協力隊員

松藤 裕也

(移住定住促進担当)

こんにちは、松藤裕也です。早いもので協力隊に着任してから半年以上が経ちました。この機会にこれまでの活動を一度振り返ってみたいと思います。

着任して最初にした仕事は、日野沢川ふれあい広場の柵の製作でした。ローヤやもの作りという得意分野を生かして柵がなかつた部分に竹柵を作りました。万が一、子供が寄りかかっても大丈夫なように、と考えかなり丈夫なものに仕上げました。

次の大きな仕事としては、皆野町ワーケーションに向けての準備です。これは現在進行形でもあるのですが、同僚の奥村隊員と協力しながら、参加する宿泊施設の取材・撮影、そしてホームページ作りそのホームページに載せるための動画の撮影・編集などを隨時進めてきました。このあたりは、奥村隊員の本業である写真業と僕の本業である映像業というお互いの得意な

分野を生かしながらの業務となりました。今後も、皆野町の地理的な優位性を生かしワーケーションやテレワーク事業を推進していくべきだと思います。

それと同時に進めているのがヘリティイジ美の山の「森のラウンジ」計画です。支配人の山本さんと相談・協力しながら森にアウトドアの要素を加えて、ワーケーションに活用してもらったり、ハンモックにゆらねながらリラックスしてもらうことを狙って、ホテル横の広葉樹の森に手を加えています。これも現在進行形で、最終的にはしっかりとお客様が入つてくるようになります。「焚き火ができるホテル」というアイデアも同ホテルで取り入れていただき、この夏から実装化しました。これはお客様からも好評だと山本支配人から伺いました。

その他これまでに行なった活動を列挙していくと、「日野沢自然を愛する会」での清掃活動、西武鉄道の地域貢献活動（CSR活動）のイベントの企画と進行、個人的に知り合いになつた方々のお手伝い依頼（草刈りや薪作りなど）、町や観光協会などで使えるような写真素材の撮影、「みどりを守るボランティア」への参加などがあります。どの活動をとっても、そこからも得るものがありますし、そこで知り得た人脈というものもある

そして「一つ目は、自分の目標でもある「キャンプサロン」の開業に向けて前進をしていく、ということです。「キャンプサロン」とは何だいね?ということについては次の機会(来年3月号)に詳しく書かせていただこうと思っています。現状は予定地の地権者の方々と色々とお話をさせていただいている段階です。地域の活性化、ひいては移住促進にもつながる可能性が

さて、これから中期的に力を入れていきたいことが二つあります。

一つ目は、町の空き家の有効活用の方法を考え少しずつ実践していくことです。それともつながることなので、移住相談センター「寄つてんべえみなのんち」をより皆さんに身近な存在に感じてもらいたい、ということです。「みんなのんち」を、町外の方にとつては移住相談の窓口として、そして町内の方にとつては、空き家の活用相談窓口としてもつと認めて知してもらいたいと思つています。

ります。それは今後の協力隊の活動に必ずつながっていく貴重なものだと思っています。だから、「頂いたお話や仕事は都合がつく限り受ける」という



ワーケーションホームページ用写真。
僕がモデルで奥村隊員が撮影したもの。



ヘリティジ美の山の「森のラウンジ」用の宣伝写真。ザレ隊員にモodelを頼んだ。

地域おこし協力隊イベントのお知らせ

奥村隊員が主催する「皆野ヒストリックカラリー」が開催されます。ゴール会場の皆野町役場では、車両の展示を行いますのでぜひご覧ください。

日 時 12月12日(日) 正午頃
※詳しくは Facebook で
お知らせします。



フェイスブック



SL撮影風景。町のPRに使えそうな写真は今後も撮影していきます！